

PHILIPS

ヘッドフォン

4000 シリーズ

TAK4206



取扱説明書

で製品を登録してサポートを受けましょう。
www.philips.com/support

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	聴覚の安全	2
	一般情報	2

2	お使いの Bluetooth ワイヤレスヘッドフォン	3
	付属品	3
	その他の機器	3
	Bluetooth ワイヤレスヘッドフォンの概要	3

3	はじめに	4
	ヘッドフォンの充電	4
	ヘッドフォンと携帯電話のペアリング	4

4	ヘッドホンを使用する	5
	ヘッドフォンの Bluetooth デバイスへの再接続	5
	通話と音楽の管理	5
	ヘッドフォンの装着	6
	再生時間制限と音量制限はフィリックスヘッドフォンアプリで設定することができます	6

5	技術データ	8
---	-------	---

6	通知	9
	適合宣言	9
	使用済み製品とバッテリーの廃棄	9
	EMF への準拠	9
	環境情報	10
	コンプライアンスのお知らせ	10

7	商標	12
---	----	----

8	よくある質問	13
---	--------	----

1 安全上のご注意

一般情報

損傷や不具合を避けるために：

⚠ 注意

- ヘッドフォンを高温に晒さないでください
- ヘッドフォンを落とさないでください
- ヘッドフォンに水滴や水がかからないようにしてください。
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、水または薄めた中性洗剤を最少量加えて湿らせ、製品を清掃してください。
- 内蔵バッテリーは、日光、火災等の高温にさらされないようにしてください。
- 電池を誤ったタイプのものに交換すると、セーフガードが無効になる可能性があります。
- バッテリーを火や高温のオープンに捨てたり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると爆発する可能性があります。
- 極端に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。
- 自動車を運転しているとき、自転車に乗っているとき、交通量の多い場所を走ったり歩いたりしているときは、絶対にヘッドフォンを使用しないでください。多くの場所で危険かつ違法な行為となります。

聴覚の安全



⚡ 危険

- 聴覚の損傷を避けるために、大音量でヘッドフォンを使用する時間を制限し、音量を安全なレベルに設定してください。音量が大きいくほど、安全な視聴時間は短くなります。

ヘッドフォンを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ試聴してください。
- 耳が慣れてきますので、音量を上げ続けられないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- 危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- イヤホンやヘッドフォンの音圧が高いと難聴になることがあります。
- 運転中に両耳をふさがれたイヤピースを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

操作および保管について

温度および湿度

- 動作温度：0°C (32°F) ~ 40°C (104°F)
- 保管温度：-10°C (14°F) ~ 45°C (113°F)
- 動作湿度：8% ~ 90% RH (結露なし)
- 保管湿度：5% ~ 90% RH (結露なし)
- 最高動作高度：3000m
- バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。

2 Bluetooth ワイヤレスヘッドセット



海外保証



安全説明書

ご購入頂きありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ!フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を www.philips.com/support からご登録いただく必要があります。

フィリップスワイヤレスヘッドセットは、次のようにご利用いただけます。

- ・ 便利なワイヤレスハンズフリーでの通話を楽しめます。
- ・ ワイヤレス音楽を楽しみながら操作できます。
- ・ 通話と音楽を切り替えられます。

付属品



フィリップスワイヤレスキッズヘッドフォン (TAK4206)



USB-C 充電ケーブル (充電のみ)

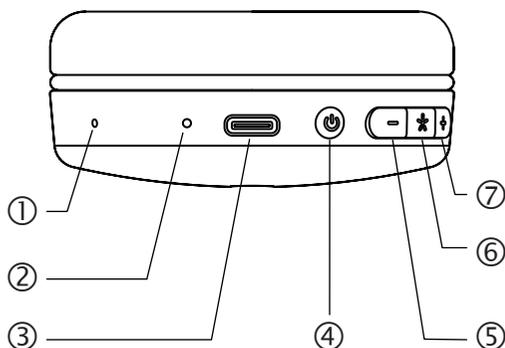


クイックスタートガイド

その他の機器

Bluetooth に対応し、ヘッドセット (8 ページの「テクニカルデータ」を参照してください。) と互換性のある携帯電話またはデバイス (ノートパソコン、PDA、Bluetooth アダプタ、MP3 プレーヤーなど)。

お使いの Bluetooth ワイヤレスヘッドフォンの概要



- ① マイク
- ② LED インジケータ
- ③ USB 充電スロット
- ④ オン/オフボタン
- ⑤ - 音量調整ボタン
- ⑥ 光モード制御ボタン
- ⑦ + 音量調整ボタン

3 はじめに

ヘッドフォンの充電

注釈

- 初めてヘッドセットを使用する前に、バッテリーを5時間充電し、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、付属の USB 充電ケーブルのみを使用してください。
- ヘッドフォンを充電する前に通話を終了してください。ヘッドフォンを充電用に接続すると、ヘッドフォンの電源がオフになります。
- 充電中は通常のヘッドフォンを操作することはできません。

付属の USB 充電ケーブルを以下に接続します。

- USB - C 充電スロットを搭載したヘッドフォン、および
 - コンピュータの充電 / USB ポート。
- ↳ LED は充電中白色に点灯し、ヘッドフォンの充電が完全に終了すると消灯します。

ヒント

- 通常、充電が終了するまでに2時間かかります。

ヘッドフォンを携帯電話とペアリングします。

携帯電話でヘッドフォンの使用を開始する前に、ペアリングを行います。ペアリングに成功すると、ヘッドフォンと携帯電話の間に固有の暗号化されたリンクが確立されます。ヘッドセットは最後の4つのデバイスをメモリに保存します。4つ以上のデバイスをペアリングしようとする、ペアリングされた最も古いデバイスが新しいデバイスに置き換えられます。

- 1 イヤーピースが完全に充電されていることを確認します。
- 2  を2秒間長押しヘッドフォンの電源を入れます。
- 3 携帯電話の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認します。
- 4 ヘッドフォンと携帯電話をペアリングします。詳しくは、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

次の例はヘッドフォンと携帯電話をペアリングする方法について説明しています。

- 1 お使いの携帯電話の Bluetooth 機能を有効にして、Philips TAK4206 を選択します。
- 2 プロンプトが表示されたら、ヘッドセットのパスワード「0000」（ゼロ4つ）を入力します。Bluetooth 3.0 以降を搭載した携帯電話の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAK4206

4 ヘッドフォンの使用

ヘッドフォンの Bluetooth デバイスへの再接続

- 1 携帯電話 /Bluetooth デバイスの電源を入れます。
- 2 電源ボタンを2秒間長押ししてヘッドフォンの電源を入れます。
 - 青色に点灯します。
 - ヘッドフォンは自動的に最後に接続された携帯電話 /Bluetooth デバイスに再接続されます。1分以内にヘッドフォンが最後のデバイスに接続できない場合は、「未接続」モードに入ります。

ヒント

- ヘッドフォンの電源を入れた後に携帯電話 / Bluetooth デバイスの電源を入れるか、または Bluetooth 機能を有効にすると、ヘッドフォンと携帯電話 /Bluetooth デバイスを手動で再接続する必要があります。

注釈

- ヘッドフォンが動作範囲内にある Bluetooth デバイスに5分以内に接続できない場合は、バッテリーを節約するために自動的に電源が切れます。

通話と音楽の管理

オン / オフ

作業	ボタン	操作
ヘッドフォンの電源をオンにします。	電源ボタン	2秒間長押し。
ヘッドフォンの電源をオフにします。	電源ボタン	4秒間長押し。 → 青色ライトが点灯し、ゆっくりと消灯します。

音楽のコントロール

作業	ボタン	操作
音楽の再生 / 一時停止	電源ボタン	1回押し
音量の調節	+/-	1回押し
次の曲	右向き矢印	2秒間押し続けます
前の曲	-	2秒間押し続けます

通話のコントロール

作業	ボタン	操作
通話の受信 / 終了。	電源ボタン	1回押しします。
着信の拒否。	電源ボタン	2秒間長押し。

RGB 光モードインジケータ

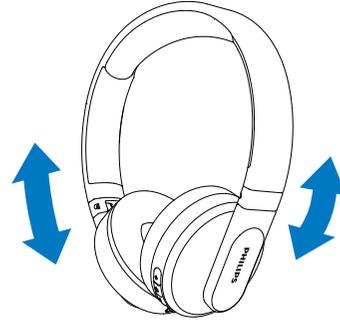
作業	ボタン	操作
赤色ライトモード		1回押します。
青色のライトモード		1回押します。
緑色光モード		1回押します。
レインボーライトモード		1回押します。
消灯		1回押します。

その他のヘッドフォンのインジケータの状態

ヘッドフォンのステータス	インジケータ
ヘッドフォンがスタンバイモードの時や音楽を聴いている時には、ヘッドフォンが Bluetooth 機器に接続されています。	青色の LED が 4 秒ごとに点滅します。
ヘッドフォンはペアリングの準備ができています。	LED が青色と白色で交互に点滅します
ヘッドフォンの電源はオンですが、Bluetooth デバイスに接続されていません。	LED が青と白に交互に点滅すると、5 分以内にヘッドフォンの電源が切れます。
バッテリー残量低下。	白色の LED は、自動的に消灯するまで 1 分ごとに 3 回点滅します。
バッテリーが完全に充電されています。	消灯。

ヘッドフォンの装着

ヘッドバンドを頭に合わせて調整します。



再生時間制限と音量制限はフィリップスヘッドフォンアプリで設定することができます。

QR コードをスキャンするか、「ダウンロード」ボタンを押すか、あるいは Apple App Store または Google Play で「Philips Headphones」と検索してアプリをダウンロードしてください。



再生時間制限：

- 再生時間は、Philips ヘッドフォンアプリで設定できます。

↳ デバイスがヘッドセットに接続されていることを確認し、Philips ヘッドセットアプリで再生時間を設定します。

- ・ 音量があらかじめ設定された音量制限に達する 10 分前に、「再生時間制限が有効になっています」という音声プロンプトが聞こえます。

↳ a) 再生時間制限に達すると、「再生時間制限が有効になっています」という音声プロンプトが再生され、ヘッドセット内の音楽が一時停止します。バッテリーが消耗するまで、10 秒ごとに「再生時間制限が有効です」という音声プロンプトが再生されます。ヘッドセットとペアリングされたデバイスは同時に一時停止されます。

b) 接続したデバイスから再生を続ける場合は、ヘッドセットの電源を切り、デバイスから切断してください。

- ・ 同じ日にもう一度電源を入れます。

↳ 1. 前のセッションの再生時間に達していない場合、再生時間は前のセッションからカウントされ続け、

2. 前のセッションの再生時間に達した場合は、以下の手順に従ってください

3. 再生時間制限をリセットする場合は、Philips ヘッドセットアプリの再生時間制限セクションで [しない] を選択してください。

- ・ 翌日、再生時間制限タイマーがリセットされ、「0」分からカウントを開始します。

音量制限

- ・ 音量制限は、Philips ヘッドフォンアプリで設定できます。

↳ a) デバイスがヘッドセットに接続されていることを確認し、Philips ヘッドセットアプリで音量制限を設定します。

- ・ ヘッドセットの音量がフィリップスヘッドセットアプリのプリセット音量よりも大きい場合、音声プロンプト「音量制限が有効になっています」がアクティブになります。

1. ヘッドホンの音量がアプリのプリセット音量制限よりも大きい場合、ヘッドホンの音量は 1 分ごとに減少し、プリセット音量に達するまで「音声制限が有効です」という音声プロンプトが表示されます。

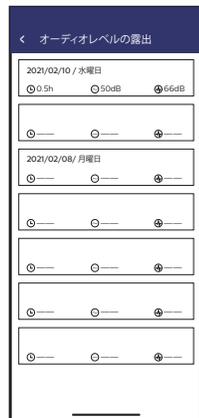
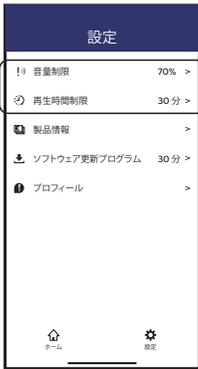
2. ヘッドセットの音量がアプリのプリセット音量以下の場合、音量は同じままです。

- ・ ヘッドセットの電源をオフにしてからオンにすると、音量制限が再開されます。
- ・ タイマーは翌日リセットされます。再度有効にするには、音量制限を設定します。

注釈

1. 設定が変更されないように、親デバイスに Philips ヘッドセットアプリをインストールしてください。
2. ヘッドセット使用時に音が聞こえない場合は、再生時間制限が設定されているか確認してください。
3. 音量 + ボタンと - ボタンを同時に 5 秒間押しすと、再生時間制限をリセットできます。これにより、ヘッドセットが工場出荷時の設定にリセットされます。

5 技術データ



- 音楽時間：28 時間
- 通話時間：25 時間
- 通常のフル充電時間：2 時間
- 急速充電 15 分で 2 時間
- 充電式リチウムポリマーバッテリー (240 mAh)
- Bluetooth 5.0
- サポート (ハンズフリープロファイル - HFP)
- Bluetooth のステレオ対応 (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル - A2DP、オーディオビデオリモートコントロールプロファイル - AVRCP)
- 周波数範囲：2.402 ~ 2.480 GHz
- 伝送出力：10 dBm 未満
- 動作可能範囲：最大 10 メートル (33 フィート)
- デジタルエコー&ノイズ低減によりクリアな通話
- 自動電源オフ

注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。
- 充電式バッテリーは、大人の監督の下でのみ充電できます。

6 通知

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limited は、この製品が指令 2014/53/EU の必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言は www.p4c.philips.com からご確認いただけます。

使用済み製品とバッテリーの廃棄



製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令 2012/19/EU の対象であることを意味します。



この記号の意図として欧州指令 2013/56/EU の適用を受ける内蔵充電式バッテリーで、一般家庭では廃棄できないものを使用しています。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。

電気・電子製品と充電式電池の地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式電池を適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防止します。

内蔵バッテリーの取り外し

お客様の国に電子製品の回収・リサイクルシステムがない場合、ヘッドフォンを廃棄する前にバッテリーを取り外してリサイクルすることで環境を保護することができます。

- ・ バッテリーを取り外す前に、ヘッドセットが充電ケースから外れていることを確認します。



EMF のコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関して適用されるすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要な梱包はすべてなくしました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート。)に分別しやすい梱包を心がけました。

製品は、専門会社によって解体された場合にリサイクルおよび再利用できる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート 15 に準拠しています。次の 2 つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. この機器は有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. この機器は、受信した干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

FCC 法規

本装置は、テストの上、FCC 規則の 15 部に準拠するクラス B デジタル機器の限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できま

す)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- ・受信アンテナの方向または場所を変えます。
- ・装置と受信機の距離を離します。
- ・装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- ・サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV 技術者に相談してください。

FCC の放射線被曝に関する声明:

この装置は、管理されていない環境に対して定められた FCC の放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意: 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSS に準拠するライセンス免除送信機 / 受信機が含まれます。次の 2 つの条件にしたがって操作する必要があります。(1) このデバイスは、有害な干渉を引き起こす可能性がなく、かつ (2) 望ましくない装置の動作を引き起こす可能性がある干渉を含め、すべての干渉を受け入れる必要があります。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

IC の放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意 : 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

Avis de conformité

Cet appareil satisfait aux règlements de la FCC partie 15 du Code of Federal Regulations. Son fonctionnement est assujéti aux deux conditions suivantes:

1. **Cet appareil ne doit pas causer d'interférence préjudiciable et**
2. **l'appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences qui peuvent causer un fonctionnement non désiré.**

Règlement de la FCC

Cet équipement a été testé et jugé compatible avec les limites s'appliquant aux appareils numériques de la classe B, conformément à l'article 15 du règlement de la FCC. Ces limites ont été définies pour fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans le cadre d'une installation résidentielle. Cet équipement génère, utilise et peut émettre de l'énergie radiofréquence et, s'il n'est pas installé ni utilisé conformément aux instructions, peut causer des interférences gênantes pour les communications radio.

Rien ne garantit toutefois que des interférences ne surviendront pas dans une installation particulière. Si cet équipement cause des interférences nuisibles pour la réception de la radio ou de la télévision, ce qui peut être déterminé en mettant l'équipement hors tension puis sous tension, l'utilisateur devra essayer de corriger ces interférences en effectuant une ou plusieurs des opérations suivantes :

Déplacez l'antenne de réception.
Augmentez la distance entre l'équipement et le récepteur.
Branchez l'équipement à une prise d'un circuit autre que celui sur lequel le récepteur est branché.
Consultez le détaillant ou un technicien de radiotélévision expérimenté.

Canada :

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Déclaration d'IC sur l'exposition aux radiations:

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiations définies par le Canada pour des environnements non contrôlés. Cet émetteur ne doit pas être installé au même endroit ni utilisé avec une autre antenne ou un autre émetteur.

7 商標

Bluetooth

Bluetooth® の文字商標およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Top Victory Investment Limited がライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

8 よくある質問

使用している Bluetooth ヘッドフォンの電源が入りません。

バッテリー残量が少なくなっています。ヘッドフォンを充電します。

Bluetooth ヘッドフォンと携帯電話のとペアリングできません。

Bluetooth が無効になっています。携帯電話の Bluetooth 機能を有効にして、携帯電話の電源を入れてからヘッドホンの電源を入れてください。

ペアリングがうまくいきません。

ヘッドホンがペアリングモードになっていることを確認してください。

- ・ この取扱説明書に記載されている手順に従ってください (4 ページの「ヘッドフォンと携帯電話のペアリング」を参照)。
- ・ LED ランプが青と白に交互に点滅することを確認してください。

携帯電話でヘッドフォンを検知できません。

- ・ ヘッドフォンが以前にペアリングされたデバイスに接続されている場合があります。その接続されている機器の電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。
- ・ ペアリングがリセットされたか、ヘッドフォンが以前に別のデバイスとペアリングされている可能性があります。取扱説明書に記載されている手順に従って、ヘッドフォンと携帯電話をもう一度ペアリングしてください (4 ページの「ヘッドフォンと携帯電話のペアリング」を参照)。

Bluetooth ヘッドフォンが Bluetooth ステレオ対応の携帯電話に接続されていますが、音楽は携帯電話のスピーカーでしか再生されません。

お使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。[ヘッドフォンを通じて音楽を聞く] を選択してください。

音質が悪く、音飛びノイズが聞こえます。

Bluetooth デバイスが電波が届く範囲から外れています。ヘッドフォンと Bluetooth デバイス間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合に、音質が低下します。

お使いの携帯電話が (mono) HFP だけではなく、A2DP にも対応しており、(以上) と互換性があることを確認してください (8 ページの「テクニカルデータ」を参照)。

Bluetooth 対応機器で音楽は聴くことはできませんが、コントロールできません (再生 / 一時停止 / 早送り / 巻き戻しなど)。

Bluetooth オーディオソースが AVRCP (8 ページの「テクニカルデータ」を参照) に対応していることを確認してください。

サポートについては、

www.philips.com/support をアクセスしてください。



Philips および Philips Shield Emblem は、Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limited が本製品に関する保証を行います。

